

令和2年度 第5回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 令和2年12月15日(火) 14:00～16:00
- 2 開催場所 小平市立小川西町公民館 ホール
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 11名
事務局 中央公民館長、館長補佐兼事業担当係長、管理担当係長、
分館担当係長 10名
- 4 傍聴者 3名
- 5 配布資料 (1) 令和2年度 小平市公民館定期講座等一覧表・・・資料1
(2) 令和2年度 東京都公民館連絡協議会 職員部会 報告・・・資料2
(3) 令和2年度 東京都公民館連絡協議会 委員部会 報告・・・資料3
(4) 都公連 委員部会 第1回研修会まとめ・・・資料4
(5) 都公連 委員部会 第1回研修会審議会委員報告・・・資料5
(6) 補正予算書(第6号) 抜粋・・・資料6
(7) 中央公民館意見交流会まとめ・・・資料7
(8) 令和2年度 第4回小平市公民館運営審議会 会議要録・・・資料8
- 6 次第 (1) 館長報告
(2) 公民館定期講座等について
(3) 東京都公民館連絡協議会について
(4) 予算(補正予算)について
(5) 自主研修会他について
(6) その他

会議の概要

1 館長報告

(1) 市議会臨時会および12月定例会について

- ・11月4日 臨時会について

新型コロナウイルス感染対策に関わる補正予算(案)が可決され、中央公民館がウェブ会

議システムを導入するための費用 63 万円余りが予算化された。

- ・ 12 月市議会定例会における一般質問について
 - ・ 「市長の新型コロナウイルス感染症対策は不十分。来年度の市政運営にビジョンはあるのか」(松岡あつし議員)
- 市の公共施設のワイファイ環境整備について、公民館等に整備した場合の見込み額を答弁した。

(2) 公共施設マネジメントについて

- ・ 小平第十一小学校へ複合化する公共施設の方向性についての説明会
(主な質問の内容)
 - ① 複合化した元の施設の跡地の取扱い
 - ② 複合化による学校の防犯
 - ③ 福祉避難施設である地域センターが複合化されること
 - ④ 図書館の分室が無くなること
- ・ 複合化する施設の利用者からのヒアリングについては、後日報告する。

(3) なかまちテラスのイルミネーションについて

職業能力開発総合大学の協力で、なかまちテラスの外壁にイルミネーションの飾りつけを実施した。点灯式は 11 月 7 日(土)午後 5 時から行われ、なかまちテラスに「遥」という漢字一文字が浮かび上がった。2 月末まで、午後 5 時から 10 時まで点灯する。

(質疑応答)

- 委員 公共施設マネジメントの小川駅公共床について、指定管理を検討していると聞いているが、運営はどうなるか。
- 館長 基本計画で指定管理者制度などを検討していくとなっているが、具体的な内容はまだ決まっていない。
- 委員 指定管理者制度については、これから検討することだが、決まってからでは遅いので、検討状況も逐次報告してほしい。
- 委員 保育室が講座時一時預かりスペースという名称になっている。公民館保育には歴史があり、一時預かりではないという意味からも、保育室という名前を残してほしい。

2 令和 2 年度小平市公民館定期講座等について

質疑応答のみ。

(質疑応答)

会 長 花小金井北公民館の講座では、今年度すでに3つサークル化している。理由があれば教えてほしい。

分館長 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、サークルの解散や活動休止が起こっている。3つの講座については、講座中から講師とコミュニケーションをとり、できるだけサークル化するように力を入れた。5回以上の講座であったこともあり、努力の結果、サークル化することができた。

会 長 サークル活動が自粛などして、世間では、認知機能の低下ということも言われている。このように、積極的にサークル化に結び付けてほしい。

委 員 小川西町公民館の地域支援講座「不登校・引きこもりを考える」、子育て支援講座「みんなで子育て 子育て座談会」についてもサークル化ができていようだ。

分館長 「不登校・引きこもりを考える」について、サークル化を検討している段階で、1月に再度検討する。コロナの影響で、応募者の半数ほどの受講であったが、大切な課題でもあり、受講できなかった方にも声をかけている。「みんなで子育て 子育て座談会」についても、アンケートを実施し、引き続き学びたいという方が大勢いたので、1月に検討する。

委 員 保育について、これまでは3人以上で開設と聞いているが、2人以上での開設に変わると聞いた。どのような経緯からか。

事務局 コロナ禍の状況で、利用人数を制限している中、どうしても3人以上ということが難しいとの話があった。この課題に対し、館内で検討し11月中旬に決定し、11月下旬に保育付きサークルへ連絡している。

委 員 保育については、コロナ禍が収束しても続けてほしい。また、今年度の前半に講座がなかった理由か分からないが、受講者に対して応募が多いと思うが、その理由は分かるか。

事務局 統計を取っているわけではないので、正確ではないかもしれないが、今年度は、各部屋の定員の半数となるよう人数制限しているために、定員以上の応募のある講座が多

くなっていると思われる。今年度の落選者が多くなっていることについては、各館の事業企画委員会にも伝えていこうと思っている。

委員 上宿公民館のジュニア講座「学んでびっくり！遊んでびっくり！科学工作ラボ」について、利用者からはすごく良いと思うが、今回は落選したという声をいただいている。次年度もこのような講座の要望がある。

分館長 定期講座一覧表のとおり、定員の5倍の応募があった。今年度の事業企画委員会で応募状況を伝えられたので、次年度も同じような講座を実施する予定である。

委員 鈴木公民館の講座数が多いが、他の分館との違いは何か。

分館長 特に違いはないが、昨年度から早めに講師選定のために動いており、タイミング良く実施できたことによるものだと思っている。

委員 今年度の事業企画委員会では、コロナ禍の状況なので、回数をなるべく抑えましようとの話を聞いたが、講師とのタイミングが良かったのだということでした。

会長 鈴木公民館の文化・教養講座「太宰治とその文学」について、4回ではもったいないとの声があった。受講者からは、継続して学びたかったとの話も聞いたので、講座の開催中にサークル化の話をもう少ししてほしかった。

3 令和2年度 東京都公民館連絡協議会について

事務局より資料2について、委員より資料3について説明した。

委員 10月24日の委員部会の講演会は分館長もできれば参加してほしい。

4 自主研修会他について

事務局 自主研修会の講師について、3人の名前が挙がったので、あらためて、みなさんに希望を聞いた。希望の多かった田中先生にご都合を伺ったところ、日程について、2月17日（水）14時からで調整した。

委員 今回はコロナ禍という異常事態の中での勉強会であり、何のために、何を目的に行うかを明確に協議しておく必要があり、私は長澤先生がよいと思うが、3人の講師候補に関しもっと、委員同士で、活発な議論を行うべきと思った。

委員 委員の意見が全て出尽くしていなかったもので、私も委員同士で、議論をしたかったという意見には同感である。講師、テーマについては、各委員の希望を聞いて、委員同士の意見の交換が必要であったのではないかと。

委員 既に田中先生に連絡済みであれば、今更変更も難しいと思われるので事務局方針で実施されることは、やむを得ないと思う。

委員 委員の任期は、2年間である。今回は田中先生にお願いし、次回は、長澤先生を優先するという進め方ではどうか。

会長 では、そのような形で進める。テーマ等についてはどうか。

委員 本日は時間もないので、田中先生にお願いするご講演のテーマ等に関しては、次回までに各自事務局にメールで知らせることでいいか。

会長 では、事務局からメールを送付して返信をお願いします。

5 その他

会長 学校の状況についてお話ししてほしい。

委員 学校の状況について、日常を取り戻しつつあるが、マスクをしたり給食の時は前を向いてしゃべらないという対応をしている。行事はほぼ中止。その代わりに学年ごとにスポーツ大会やコロナ禍ではあるが、工夫をして実施している。パソコンでは、GIGAスクール構想があり、12月から1月にかけて、回線などの環境を整える。3月中には1人1台パソコンがわたり、コロナ禍でも対応できるような授業を実施していく。

次回の定例会は、1月12日（火）午後2時から鈴木公民館にて開催する。